

## 製品名: Abhd5 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86650

研究使用のみ

### 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.09mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:500-1:2000,FC 1:100-1:200
分子量	Calculated MW:39 kDa; Observed MW:39 kDa

### 抗原情報

遺伝子名	Abhd5
別名	CDS; CGI58; IECN2; NCIE2
遺伝子 ID	51099
SwissProt ID	Q8WTS1
免疫原	ヒト Abhd5 の合成ペプチド

### 背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、 $\alpha/\beta$ 加水分解酵素フォールドによって定義される大規模なタンパク質ファミリーに属

し、エステラーゼ/リパーゼ/チオエステラーゼサブファミリーに見られる触媒三元構造に対応する3つの配列モチーフを含む。このサブファミリーの他のメンバーとは異なり、推定触媒三元構造にはセリン残基ではなくアスパラギン残基が含まれる。この遺伝子の変異は、長鎖脂肪酸の酸化障害を伴うトリグリセリド蓄積症であるチャナリン・ドルフマン症候群と関連付けられている。[RefSeq 提供、2008年7月]

## 研究分野

-

## 画像データ

Human fetal liver

kDa  
250 -  
150 -  
100 -  
75 -  
50 -  
37 - ←  
25 -  
20 -

Abhd5 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、ヒト胎児肝臓組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。